

ガストーチ取扱説明書

BT-20LX・BT-20VX

このたびは **Sakae Fuji** ガストーチをお買い求めいただきありがとうございます。

本製品は「火」を扱う製品です。取扱いを間違えますと、やけど・火災等の危害を及ぼす恐れがあります。取扱説明書の注意事項をよくお読みいただいてからご使用ください。表面は一般的な注意・警告等、裏面は各機種の使用方法となっております。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本製品は日本国内専用です。海外への持ち出しはしないでください。

絵表示の意味

- 警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
- 注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・財産などの損害に結びつくもの
- 一般的な注意 一般的な禁止 必ずおこなう

故障・異常の見分け方

現象	火力が弱い	点火しにくい (ガスは出ている)	ガスが出ない	ガスの臭いがする	炎が吹き切れる	消火しない (炎が止まらない)	処置方法
容器(ボンベ)が冷えている	●						容器(ボンベ)を室温程度の所に1時間程度放置する 空気調節レバーを動かして調節する
空気孔を塞いでいる		●					空気調節レバーにて空気孔を開ける
ガス噴出量が少ない	●						ガス調節つまみにてガス量を多く調節する
ガス噴出量が多い 圧力が高い		●			●		ガス調節つまみにてガス量を少なく調節する
容器(ボンベ)の取り付け不良			●	●			容器(ボンベ)を正しく取り付ける
燃料が少ない	●	●					新しい容器(ボンベ)に交換する
点火ボタン/レバーを押すスピードが速い		●					点火ボタン/レバーをゆっくり押す
点火装置の故障		●					点検・修理を依頼する
ノズルの詰まり	●	●	●		●		点検・修理を依頼する
ガス調節部の故障				●		●	点検・修理を依頼する
消耗品(ゴム製)の劣化				●			点検・修理を依頼する

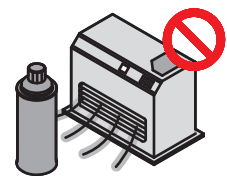
- 点検時やその他いかなる場合でも、分解・改造をおこなわないでください。ガス漏れなどを起こし、事故につながり大変危険です。
- バーナー火口先端部が赤熱するのは故障ではありません。

使用容器(ボンベ)取扱上の注意

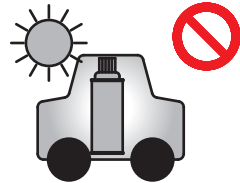
- 容器(ボンベ)は **Sakae Fuji** の表記がある専用容器(ボンベ) R200・HP200 を必ずご使用ください。それ以外の容器(ボンベ)を装着した場合、ガス漏れやガスが出ない等の不具合が発生します。
- 容器(ボンベ)に表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。

警告

- 容器(ボンベ)には高圧の可燃性液体が特殊吸収体に染込ませて入っています。従って、振っても音がしません。
- 容器(ボンベ)が高温になりますと、容器(ボンベ)内の圧力が異常に高くなり爆発の原因となりますので下記の取扱いを必ず守ってください。
 - ・容器(ボンベ)をストーブ(ファンヒーター)などの熱気にあたる場所、熱い砂の上や電磁調理器の上など熱が伝わる場所に放置しない
 - ・車内、火気や直射日光の当たる場所で保管しない
 - ・容器(ボンベ)を火中に投じない
 - ・容器(ボンベ)はバーナーから取り外し、キャップをして風通しがよく湿気の少ない40℃以下の涼しい場所に正立の状態での保管する
- ガス漏れの原因となりますので下記の取扱いを必ず守ってください。
 - ・容器(ボンベ)に強い衝撃を与えない
 - ・著しく変形した容器(ボンベ)は使用しない



※ 熱が伝わる場所への放置禁止



※ 車内放置禁止



※ 火中投下禁止



※ 落下・衝撃に注意

- 容器(ボンベ)はスチール缶を使用しています。サビの原因となる水分(湿気)等はよく拭き取ってください。時々点検し、サビが発生している場合はガス漏れが無いことを確認し、出来るだけ早めに使用してください。

- 逆さや横倒しになったままで放置されていた容器(ボンベ)を使用しますと、生ガス燃焼になる可能性があります。やけどや火災の原因となります。2~3日ほど正立の状態での放置した後で使用してください。



生ガス燃焼

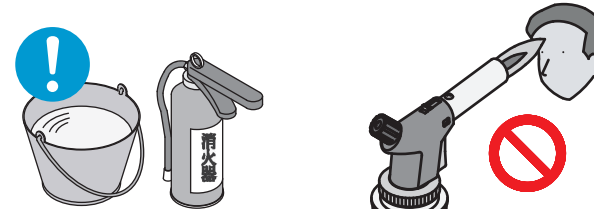
- 使用済み容器(ボンベ)への再充填はしないでください。ガス漏れ・爆発等の危険性が高く安全を確保することができません。
- 容器(ボンベ)は完全に使い切ってから各自自治体の処理方法に従って処分してください。

ガストーチ取扱上の注意 (両機種共通)

- ⚠️ **警告** Oリング等の消耗品(ゴム製)は経年により劣化します。(Oリングは製品内部にも使用しています)劣化するとガス漏れの恐れがあります。ご使用前にガスの漏れを確認し、漏れている場合は危険ですので使用しないでください。(修理対応しております)

警告

- やけどや火災の原因となりますので下記の取扱いを必ず守ってください。
 - ・点火時及び使用中にバーナー火口をのぞき込んだり人に向けたりしない
 - ・使用中及び使用後はバーナーが熱いので手などで触れない
 - ・使用の際は消火器や水を入れたバケツなどを用意し使用中及び使用後は火の元に十分注意する
 - ・火がついている場所から離れない
 - ・火をつけたまま持ち運んだり投げたりしない
- 容器(ボンベ)は正しく装着してください。正しく装着されていない場合、ガス漏れの原因となります。
- ガス漏れに気付いたら点火しない(点火ボタン/レバーを押さない)でください。漏れたガスに引火してやけどや火災の原因となります。(ガスが漏れるとタマネギが腐ったような臭いがします。)
- 室内での使用は一酸化炭素中毒や酸欠の原因となりますので換気に十分注意してください。



注意

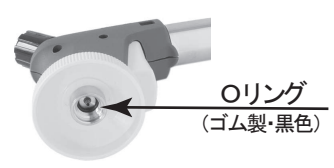
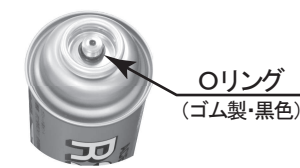
- 風の強い時や、可燃物(紙や油等の燃えやすいもの)や引火物(ガス、灯油、ガソリン、塗料等)の近くで使用しないでください。(火災予防の為)
- この「ガストーチ」は精密燃焼機器です。取扱いにはご注意ください。(安全・性能保持の為)
- 「ガストーチ」は本来炎で対象物を加熱するものです。燃焼熱がバーナー・容器(ボンベ)に伝わり、バーナー等を過熱させるような使用はしないでください。特に容器(ボンベ)が高温になりますと、容器(ボンベ)内の圧力が高くなり爆発する恐れがあります。
- ガス漏れや自動点火装置の焼損を引き起こす危険性がありますので、バーナー・容器(ボンベ)が過熱されないよう、下記の取扱いを必ず守ってください。
 - ・放射熱を受けるような至近距離での連続燃焼はしない
 - ・弱火での長時間燃焼はしない
- 自動点火装置の故障の原因となりますので下記の取扱いを必ず守ってください。
 - ・本製品を水などで濡らさない
 - ・湿度の高い場所で保管しない
- バーナーは落下させないでください。落下させると点火プラグ(セラミック製)の破損や、ガス調節機構の変形により、ガス漏れの原因や点火不良となり使用出来なくなります。また、容器(ボンベ)を装着したまま落下させた場合、容器(ボンベ)のネジ部が破損することがあります。(ガス漏れ危険)

ガストーチ取扱上の注意 (両機種共通)

- 絶対に分解・改造をしないでください。故障や事故の原因となります。
- 火口部・空気孔にごみや異物等を付着させたまま使用しないでください。異常燃焼を起こし故障の原因となり危険です。
- 本製品の内部に砂利や虫(巣を作ります。)などが入らない場所に保管してください。
- お子様の手の届かない場所に保管し、お子様には絶対に使用させないでください。また、お子様の近くでは使用しないでください。

日常の点検・手入れ

- 製品が十分に冷えてから容器(ボンベ)を外しておこなってください。
 - ① Oリング(パッキン:下図)に傷やゴミが付いていない、または、Oリングがゆるくなく隙間ないことを確認する
 - ・ゴミが付いている場合は、ウェットティッシュなどで軽く拭き取る
 - ・傷が付いている場合、またはOリングがゆるい場合、バーナーは修理を依頼し、容器(ボンベ)は使用しない(ガス漏れ危険)
 - ② バーナー火口内部にゴミ等の付着物がないか確認する
 - ・付着物がある場合、ウェットティッシュなどで拭き取る
 - ③ ガス調節つまみが回るか確認する
 - ・ガス調節つまみが回らない場合は修理を依頼する
 - ④ 製品に破損がないか確認する
 - ・破損を見つけたら修理を依頼する
 - ⑤ 点火ボタン/レバーを押した時、バーナー火口内部で点火プラグ(裏面の「各部の名称」参照)から火花が飛ぶか確認する
 - ・火花が飛ばない場合は修理を依頼する(火花の確認は、バーナー火口の口元を手で覆うなどして暗くすると見やすいです。)

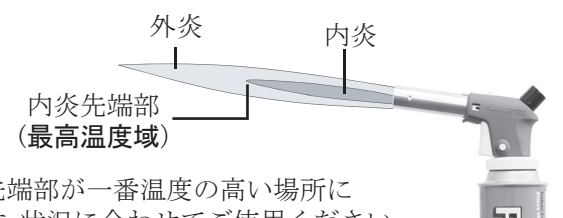


(バーナーのボンベ接続部)

注意

故障や破損など不具合だと思われる製品は使用しないでください。思わぬ事故につながります。不具合の際は、販売店・代理店または弊社へご連絡ください。修理対応させていただきます。(お客様の安全の為、部品の販売はいたしておりません。)

火炎の特徴



- 内炎の先端部が一番温度の高い場所になります。状況に合わせてご使用ください。

<両機種共通>

容器(ボンベ)の取り付け前の確認事項

BT-20LX

- ① 容器(ボンベ)を取り付ける前に、必ず**ロックボタン**を下に押し「ON」にしてから**消火ボタン**を押してください。(ガス漏れ防止の為)



BT-20VX

- ① 容器(ボンベ)を取り付ける前に、必ず**誤作動防止リング**の矢印を「ON」に合わせてから**レバー**を押して戻すことを確認してください。(ガス漏れ防止の為)



容器(ボンベ)の取り付け方

- ① 容器(ボンベ)を正立させ、バーナーと容器(ボンベ)のネジを合わせ矢印の方向に止まるまで回し、締めます。(容器(ボンベ)を締め込む途中で一瞬ガスが出る音がありますが異常ではありません。続けて締め込んでください。取り付け後にガス漏れがなければ正常です。)

- ⚠ バルブカバーが傾いたまま容器(ボンベ)に装着するとガス漏れの恐れがあります。
- ⚠ バルブカバーを強く締めすぎると、バルブカバー及び容器(ボンベ)のネジ部が破損しガスが出にくくなる可能性があります。

- ② ガス漏れがないことを確認します。



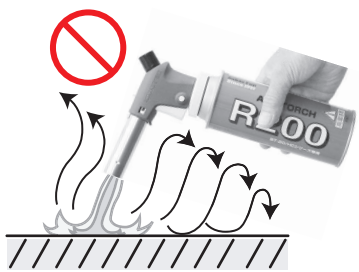
- ⊘ ガスが漏れるとタマネギが腐ったような臭いがします。**ガス漏れに気付いたら、絶対に点火しないでください。**漏れたガスに引火して、やけどや火災の原因となります。

- ③ 容器(ボンベ)の取り外しは「①しめる」を反対に回してください。

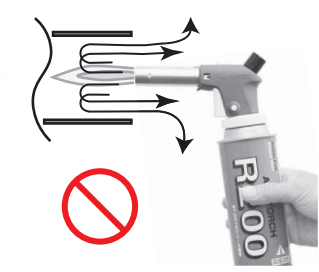
- ④ ご使用後は、製品が冷えてからバーナーと容器(ボンベ)を必ず取り外して容器(ボンベ)にキャップをして保管してください。(ガス漏れ防止の為)

バーナー・容器(ボンベ)過熱防止の注意

下記のような連続使用は、バーナー・容器(ボンベ)を過熱してガス圧が異常に高くなり、破損や、点火装置等の焼損の原因となりますので絶対におやめください。また、弱火での連続使用はバーナーを過熱して危険です。



炎の跳ね返り、輻射熱によるバーナーとボンベの過熱注意



バーナー火口を穴・筒等の中や可燃物の中に入れると高温の燃焼ガスをバーナーが吸込み危険

<BT-20LX>

点火

- ① 点火する前に周辺に引火物、可燃物がないことを確認してください。
- ① ロックボタンを下に押し「ON」が見えるようにします。
- ② 空気調節レバーの位置により、空気孔の全開を確認します。(出荷時、空気孔は開いている状態です)
- ③ ガス調節ツマミを反時計回りに回します。(点火連動機構のため、ガス調節ツマミを回ただけではガスは噴出しません。)
- ④ 点火ボタンをゆっくり半押ししてシューというガス音を確認してから点火ボタンを押し込んで点火します。(点火ボタンを早く押すと点火しない場合があります。)



- ⑤ 火力は、ガス調節ツマミで調節してください。
- ⚠ ガス調節ツマミを絞りにすぎるとガスは完全に止まっていなくても火が消える場合があります。火が消えた場合は消火ボタンを押し、再度点火操作をおこなってください。
- 空気調節レバーをバーナー火口側に動かし空気孔の開きを小さくすると温度の低い赤火になります。(8ページの「点火のコツ」の図を参照してください。)

消火

- ① 消火ボタンを押すと消火します。完全に消火したことを確認してください。
- ② 必ずロックボタンを上押し「LOCK」が見えるようにします。(誤作動防止の為)

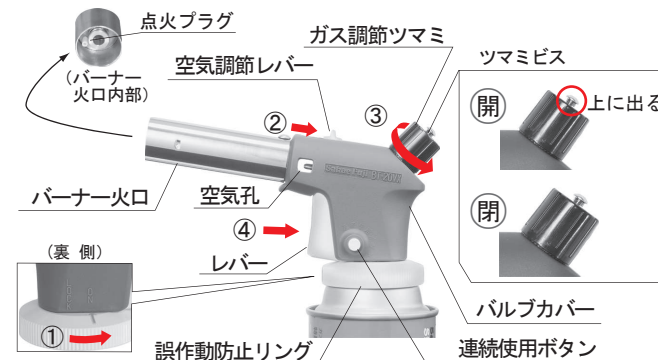


- ④ ご使用後は、製品が冷えてからバーナーと容器(ボンベ)を必ず取り外して容器(ボンベ)にキャップをしてください。(ガス漏れ防止の為)
- ⑤ 保存の際は、常温多湿を避け風雨の当たらない場所で保管をしてください。

<BT-20VX>

点火・消火

- ① 点火する前に周辺に引火物、可燃物がないことを確認してください。
- ① 誤作動防止リングの矢印を「ON」の位置に合わせます。
- ② 空気調節レバーの位置により、空気孔の全開を確認します。(出荷時、空気孔は開いている状態です)
- ③ ガス調節ツマミを反時計回りに回します。(特殊機構のため、ガス調節ツマミを回しただけではガスは噴出しません。)(ガス調節ツマミを開くとツマミビスが上に出ます。)
- ④ レバーをゆっくり半押ししてシューというガス音を確認してからレバーを押し込んで点火します。レバーを押している間は炎が出て、離すと消火します。(レバーを早く押すと、点火しない場合があります。)



- ⑤ 火力は③のガス調節ツマミで調節してください。ガス調節ツマミは、回すと「カリカリ」という感触がある新機構ツマミで、炎の微調節が出来ます。
- ⚠ ガス調節ツマミを開閉とも強く締め込まないでください。固着して動かなくなる場合があります。
- ① 安全の為(誤作動防止の為)誤作動防止リングの矢印を「LOCK」の位置に合わせてください。
- ② ご使用後は、製品が冷えてからバーナーと容器(ボンベ)を必ず取り外して容器(ボンベ)にキャップをしてください。(ガス漏れ防止の為)
- ③ 保存の際は、常温多湿を避け風雨の当たらない場所で保管をしてください。
- 空気調節レバーをバーナー火口側に動かし空気孔の開きを小さくすると温度の低い赤火になります。(8ページの「点火のコツ」の図を参照してください。)

連続燃焼

連続使用ボタンを使用することで、レバーから指を離しても燃焼することが出来ます。

- ① レバーをゆっくりと押し込んで点火します。
- ② レバーを押した状態で連続使用ボタンを押し、連続使用ボタンを押したままレバーを離します。(連続使用ボタンから指を離して連続使用ボタンが押し込まれた状態で固定されていることを確認してください。)
- ③ もう一度レバーを押すと連続使用ボタンが解除され消火します。
- ④ ガス調節ツマミを閉じて消火した場合は、連続使用ボタンが解除されていることを必ず確認してください。
- ⚠ 連続使用ボタンを長時間押しっぱなしの状態にしないでください。故障の原因となります。



(連続燃焼状態)

<両機種共通>

点火のコツ

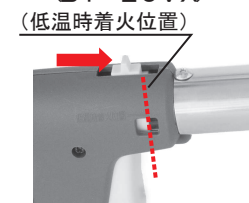
気温の変化によって、容器(ボンベ)内のガスの圧力が変化する為、点火条件が異なります。下記を参考に、調整の上ご使用ください。

- <気温が高い時>(ボンベ内の圧力が上昇)
 - ガス調節ツマミの開きを小さくしてガスの量を絞る
- <気温が低い時>(ボンベ内の圧力が低下)
 - ガス調節ツマミの開きを大きくしてガスの量を増やす
 - 空気調節レバーを動かし空気孔の開きを小さくする(BT-20VXの場合、バルブカバーにある「低温時着火位置」を参考に空気孔の開きを調節してください)

<BT-20LX>



<BT-20VX>



「点火のコツ」でも点火しない場合は「故障・異常の見分け方」に従って対応してください。

保管の注意

バーナーと容器(ボンベ)を装着したまま工具箱等の中に保管しないでください。ガス漏れを起こし火災の原因となったり、使用時に生ガス燃焼となり危険です。容器(ボンベ)はバーナーから取り外し正立させて保管してください。



お買い上げいただきました製品は万全を期していますが、点検で不備な点、及び製品について不具合や不明点があった場合、また修理をご依頼の際はお問い合わせになった販売店・代理店または弊社へご連絡ください。

生産物賠償責任保険(PL保険)付
MADE IN JAPAN

Since 1937
SAKAEFUJI 榮製機株式会社

〒441-0105 愛知県豊川市伊奈町佐脇原68
TEL (0533) 73-1190(代)・FAX (0533) 73-1196
http://www.sakae-seiki.co.jp/
E-mail: info@sakae-seiki.co.jp